

人口50万・川口と日本一小さな市・蕨のケーブルテレビ広報放送事業費の差＝3倍以上（小さな蕨が3倍高？）

	人口50万都市・川口市の場合、市が発注するケーブルテレビ事業には3社が参加。ケーブルネット埼玉とテプコケーブルは放送料金を各自、テレビ川口は制作料「川口市3社合計」というのが川口市がケーブル事業にかけてる年間経費となります。				人口7万人、日本一小さな市の蕨市の場合、田中一族の「蕨ケーブルビジョン」一社だけ。
	ケーブルネット埼玉	テプコケーブル	テレビ川口	川口3社合計	蕨ケーブルビジョン1社
平成20年度	¥2,520,000	¥957,600	¥5,040,000	¥8,517,600	¥25,662,000
平成19年度	¥2,520,000	¥957,600	¥5,040,000	¥8,517,600	¥25,935,000
平成18年度	¥0	¥957,600	¥4,788,000	¥5,745,600	¥26,754,000
平成17年度	¥0	¥1,008,000	¥4,788,000	¥5,796,000	¥27,081,600
平成16年度	¥0	¥1,260,000	¥4,788,000	¥6,048,000	¥28,064,400
平成15年度	¥0	¥1,260,000	¥5,040,000	¥6,300,000	¥28,064,400
	<p>ケーブルネット埼玉の平成10～18年までの経費がゼロなのは、川口市がケーブルネットに1,000万出資していた為。川口市には民主的な競争原理がはたらいっているんです</p>				<p>蕨市も、田中一族の「蕨ケーブルビジョン」に3,000万も出資したのに。蕨市にメリットなし。それにしても、50万都市の3倍以上の経費がかかる「日本一小さな市」って・・・</p>

蕨市18年度末・負債残高362億7,000万円（元金のみ）＝市民負担一人当たり50万円強